

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生試験所維持管理				整理番号	536		枝番号					
所属部課名		杉並保健所衛生試験所		コード	152307		連絡先電話番号	4514		昨年度整理番号	409			
係名					理化学検査係			上位施策名		No				
予算事業名					衛生試験所維持管理		コード	49950		健康を支える仕組みづくり		40		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		56年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法 (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区内在住者、区を含む事業所							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				衛生試験所庁舎の維持管理 設備の保守委託・修理									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				建物・設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等の維持管理費を抑制する。									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		㎡	1,592		1,592		1,592	1,592		1,592			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,442		29,008		27,670	22,312		23,858		特記事項	
	(内)委託費		千円	12,826		14,201		19,192	16,097		14,000			
	職員数 (正規 非常勤)		人	2.30	0.50	2.30	0.00	3.10	0.00	3.10	0.00	3.10		0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	20,891		20,891		28,157	28,157		28,157		
		非常勤職員分		千円	1,468		0		0	0		0		
	総事業費 + +		千円	45,801		49,899		55,827	50,469		52,015			
	単位あたりコスト ÷		円	28,773		31,347		35,071	31,705		32,677			
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	45,801		49,899		55,827	50,469		52,015				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和56年にできた建物で、排水処理施設・排ガス処理施設、配管、外壁等に老朽化が目立つようになった。なお空調については、平成14年度に冷温水発生器を廃止して個別空調に切り替えた。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		隣地にできたマンションの住民から、屋上の排ガス処理施設の騒音に関する苦情があった。											
	今後の予測		周辺環境・住民意識が変化してきており、近隣に対しての配慮が必要となる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	80.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	冷温水発生器を廃止して個別空調に切り替えたことによりガス代が減少した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	個別空調に切り替えたことにより、機械室常駐者が不要となった。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由：区民の健康と安全を守る施策を科学的側面から支えており、役割は重要である。		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由：		
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更		理由：		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由：行政使用のうち法定検査については無料であり、その他の行政使用を有料にすることも区行政目的からして適当ではない。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)		理由：		
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(対象の縮小)		理由：		
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 上水道を直結給水にすることにより、受水槽・高架水槽の保守管理・水質管理が不要となる。排水処理施設、排ガス処理施設を更新することにより、処理施設維持費用の低減と汚染状況の改善が期待できる。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 排水処理施設、排ガス処理施設の更新については大規模な工事が必要となる。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 個別空調に切り替えたことによる光熱水費の減、外壁補修による増が見込まれる。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		各種試験・検査				整理番号	537		枝番号						
所属部課名		杉並保健所衛生試験所		コード	152307		連絡先電話番号	4514		昨年度整理番号	409				
係名				理化学検査係				上位施策名		No					
予算事業名				各種試験・検査		コード	47650		健康を支える仕組みづくり		40				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		56年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法 (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	区内在住者、区を含む事業所														
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)										
保健所、環境課、消費生活課等からの検査依頼を受け、必要な試験検査を行い、所管課に結果を報告する。				(1) 実施検査検体数(件) (2) 検体受領回数(回)											
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)											
行政判断に科学的根拠を与え、健康被害の未然防止・被害拡大防止・再発防止をはかる。				(1) 腸管出血性大腸菌O157検出数（件） (2) 食品添加物(着色料)検出数（件）											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標(1)		件	45,223		47,227		40,000		45,882		24,000			
	活動指標(2)		回	2,564		2,414		2,100		1,882		1,300			
	成果指標(1)		件	9		8		10		3		2			
	成果指標(2)		件	157		121		120		115		120			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,064		25,881		31,691		29,499		32,470		特記事項	
	(内)委託費		千円	1,000		1,083		1,202		1,201		4,053			
	職員数(正規 非常勤)		人	15.89	0.50	15.20	0.00	13.52	0.00	13.32	0.00	10.32	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	144,329		138,062		122,802		120,986		93,737		
		非常勤職員分		千円	1,468		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	173,861		163,943		154,493		150,485		126,207			
	単位あたりコスト ÷		円	3,845		3,471		3,862		3,280		5,259			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	173,861		163,943		154,493		150,485		126,207				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		保健所、公害課、消費者センターの検査部門を統合して発足し、その後、他課からの検査依頼も受け入れ、区の総合検査機関としての性格を強めてきたが、平成13年度に衛生試験所のあり方が見直され、法定検査と健康危機管理上必要な最小限の検査以外は外部委託されることになった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民と接していないため不明である。												
	今後の予測		国際化・情報化の進展及び生活環境の変化などにより、検査に対する要望が多様化・複雑化している。それに伴い、検査分野の拡大や検査の高度化が求められると予測される。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	114.7	活動指標(2)の14年度達成率%	89.6	14年度予算執行率%	93.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	検査実績はほぼ達成している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成13年度に衛生試験所のあり方の見直しが行われ、法定検査と健康危機管理上必要な最小限の検査以外は外部委託して、定数が段階的に削減されることになった。(平成15年度は3名削減)また、平成14・15年度に5種類の検査機器が更新され、検査の効率化、高精度化が図られた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：区民の健康と安全を守る施策を科学的側面から支えており、役割は重要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：行政使用のうち法定検査については無料であり、その他の行政使用を有料にすることも区行政目的からして適当ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(民営化・外部委託化)	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 引き続き、外部に委託する検査を増やし、定数を削減する。一方、精度管理を強化して検査結果の信頼性を高めるとともに、検査機器を必要に応じて更新し、検査の効率化、高度化等を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定数削減にあたっては、知識・技術の継承を考慮する必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	保健所検査室の廃止に伴い、検査機器の保守点検費の減が見込まれる。				